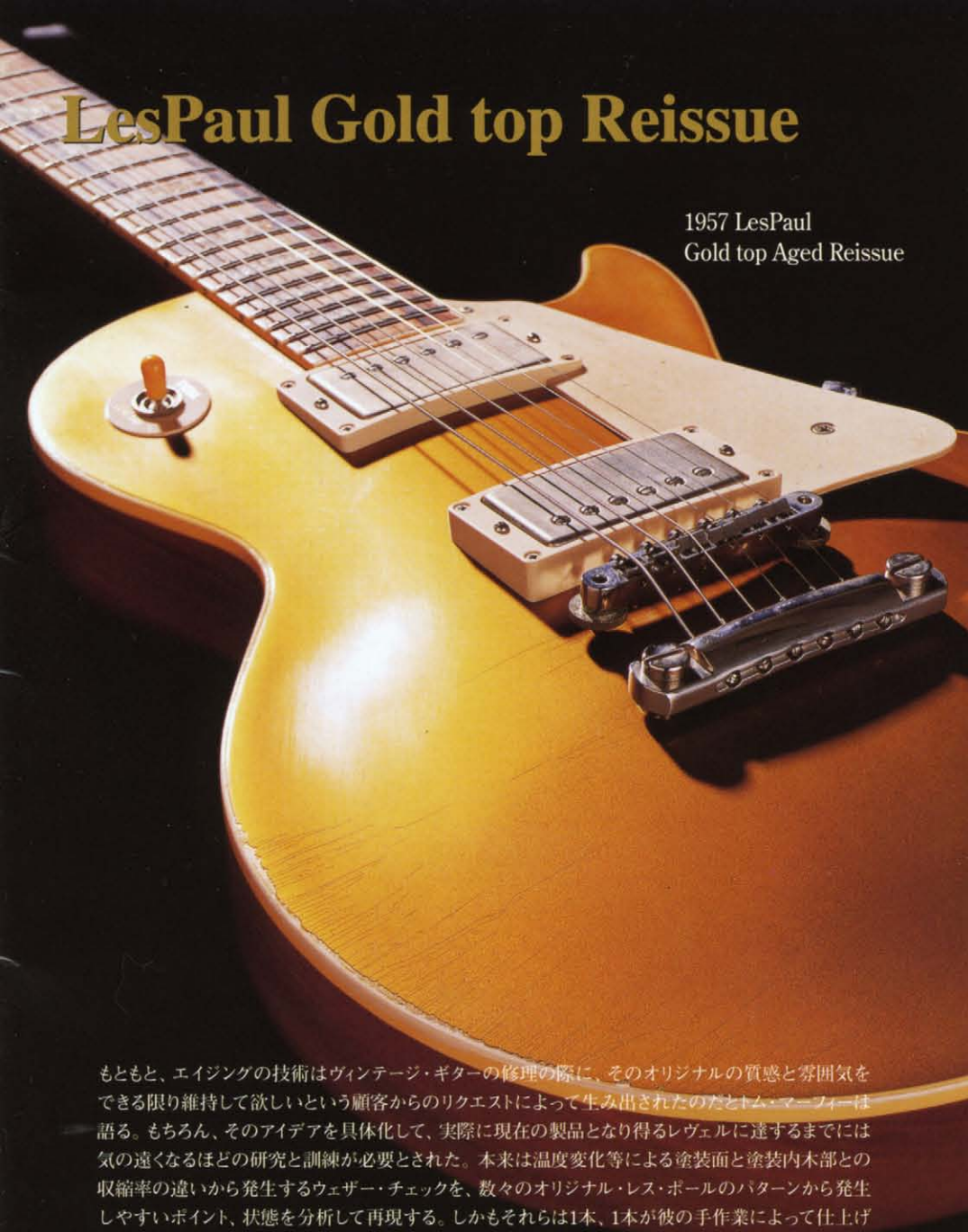


LesPaul Gold top Reissue

1957 LesPaul
Gold top Aged Reissue



もともと、エイジングの技術はヴィンテージ・ギター修理の際に、そのオリジナルの質感と雰囲気をできる限り維持して欲しいという顧客からのリクエストによって生み出されたのだとトム・マーフィーは語る。もちろん、そのアイデアを具体化して、実際に現在の製品となり得るレベルに達するまでには気の遠くなるほどの研究と訓練が必要とされた。本来は温度変化等による塗装面と塗装内木部との収縮率の違いから発生するウェザー・チェックを、数々のオリジナル・レス・ポールのパターンから発生しやすいポイント、状態を分析して再現する。しかもそれらは1本、1本が彼の手作業によって仕上げられているのだ。このためエイジド・フィニッシュを施されたギターは、オリジナル同様にウェザー・チェックの入り方が異なり、それぞれが違った表情を持つ。トムのコメントを引用するならば「モデルやカラーごとに、そのギターが最もリアルでクールに見えるように心がけて仕上げている」ということだ。ギブソン・レス・ポールという楽器を心から愛する者のみが成し得る究極のテクニックなのである。



1956 LesPaul
Gold top Reissue AG

BODY: Maple top, Mahogany back
NECK: Mahogany
FINGER BOARD: Rosewood
PICKUPS: P90



1954 LesPaul
Gold top Reissue AG

BODY: Maple top, Mahogany back
NECK: Mahogany
FINGER BOARD: Rosewood
PICKUPS: P90

ロング・テノン(ディープ・ジョイント)

オリジナルと同様の手法を用いて接着面積を深く広くとったネックの組み込み。トーンの伝達力を高めて驚異的なレスポンスを生み出す。